令和6年度 萩野小学校 スクールプラン

【学校教育目標】 自ら学び、ともに生きる

【めざす児童像】 はきはきと話し、よく考える子
きもちのやさしい子
のびのびとたくましい子

越前町学校教育目標

すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現

越前町学校教育方針

個性と協働が共存する学校教育

未来を拓く学力

<重点目標(育成する力)>

- 対話を通して学び合う力
- ICTを活用して、学びを広め、深める力
- 一人ひとりに合った確かな学力

<数値目標>

- ・「授業に主体的に参加している(意識調査ウ)」と答える児童が90%以上
- ・「楽しみながらタブレットを活用し、調べたり発表したりできた」と答える児童が90%以上
- ・「授業がよくわかる(意識調査エ)」と答える児童が90%以上

<具体的取組>

- ・自己の考えを広げ深めるために、主体的な対話の場を設ける。
- ・学習課題を意識して、児童の発言をもとに、授業をコーディネートする。
- ・基礎基本の学力の定着や個別最適な学びの充実のために、ドリル(デジタルも含む)学習や自主学習ノートを積極的に活用する。
- ・ICTを活用した授業実践を共有し合い、効果的に授業に用いる。

豊かな心と健やかな体

<重点目標(育成する力)>

- 主体的に学級・学校づくりに参画する力
- 多様性を認め、あたたかな関係を築く力
- 心と体の健康を意識して生活する力

<数値目標>

- ・「学校が楽しい(意識調査ア)」と答える児童が90%以上
- ・「みんなで何かをするのは楽しい(意識調査イ)」と答える児童が90%以上
- ・「めあてをもって生活することができた」と答える児童が90%以上

<具体的取組>

- ・児童主体で計画・実践・振り返りを繰り返し、自治力を高める。(係・委員会活動、縦割り班活動、行事)
- ・道徳、行事、縦割り班活動等と関連を図ったポジティブ(レジリエンス)教育を行い、逆境に負けない心を育む。
- ・業間運動・体育・生活習慣において、意欲的に活動ができるように、めあてを決め、振り返りを行う。

職員の働き方

重点目標

具体的取組

健康でいきいきと勤務できる環境づくり

- ・協働業務の意識向上
- ・業務の効率化
- ・家庭・地域・外部機関(織田小含む)との連携
- ・校内 OJT の推進
- ・18時までに退庁の励行